

第33回 軽井沢22世紀風土フォーラム基本会議

【日時】 令和5年6月23日（金） 19:00～21:00

【場所】 中央公民館 第3会議室

【出席者】 基本会議委員：稲葉俊郎委員、鹿ノ戸彩委員、小出恵委員、
鈴木幹一委員、袖山尚委員、福原未来委員、
三島勇委員

内 容

【副会長】

第33回軽井沢22世紀風土フォーラム基本会議を開催する。

本日は、【会長】が体調を崩され、欠席となったため、代わって私から挨拶をさせていただきます。

新型コロナウイルスが5類移行後の初となる、久しぶりの対面による会議を会長がデシジョンされまして、今回多くの委員の皆様にお集まりいただき感謝する。2月に土屋新町政が始動され、これまで町が検討を進めてきたさまざまな事業や取組みについて、再検討や見送り、これまでの経緯を踏まえた改善が図られつつある。その中で、今後の風土フォーラムについてどのように取り計らったらよいか、今回基本会議の皆様にお諮りし、残り1年のスケジュールの再調整を含めてご意見を伺いたい。

また、秋に予定している芸術祭についても、【A委員】・【B委員】を中心に、準備を滞りなく進めていただいているところでありますが、その進捗のご報告をいただき、共有させていただきたい。

基本会議の任期は、残り1年を切ったが、引き続き軽井沢町に貢献できるよう働かせていただく心づもりである。どうか委員の皆様より引き続きのご助力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

委員各位のご尽力に心より感謝を申し上げ、本年度は次に繋がっていく道筋を描けるような、希望に満ちた1年となることをご祈念申し上げて、挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしく願います。

議題の「(1)今後の風土フォーラムについて」を事務局は説明してください。

~~~~~

現在、審議・検討中の情報であるため、この議題は一時非公開とします。  
非公開とする理由がなくなった際に公開しますので、しばらくお待ちください。

~~~~~

【副会長】

次に、議題(2)に入る。ファシリテーターの【C委員】願います。

【C委員】（ファシリテーター）

議題(2)「今年度スケジュールの再調整」だが、説明を願います。

【事務局】

誠に勝手ながら事務局で作成したスケジュールについて説明する。

まず、基本会議だが、本日の会議で決定したセミナーの日時等をもとに事務局で【知識経験者】にアポイントメントをとる。次に、8月に第34回の基本会議を開催し、セミナーのテーマ等について協議を行う。因みに、町長が先日の町長選挙で公約としていた「自然環境の保全と再生」をテーマにすることも選択肢の一つとしてはありかと考えている。また、まちづくり基本条例の改正案についても協議を行う。

次に、9月から10月の間に第35回の基本会議を開催し、その中で引き続きまちづくり基本条例の改正について協議し、また、セミナーについて必要であれば最終調整を行う。また、この期間にセミナー講師との打合せができればと思っている。

次に、11月にセミナー及び意見交換会を開催、12月から1月までの間に第36回基本会議を開催し、セミナー及び意見交換会から学んだことを基本会議としてまとめていくという流れが良いかと思っている。そして、2月にそれらをまとめたものを提言書として作成し、3月に町長宛てにその提言書を提出する。

芸術祭については、4月に県の元気づくり支援金の内示をもらい、5月に新たに実行委員会を立上げて、主体がプロジェクトチームから実行委員会に移行することとなった。また、芸術祭は、11月3日から11月23日までの間で開催するというので、詳細は後ほど【A委員】からご説明いただければと思う。

【C委員】（ファシリテーター）

セミナーについて、説明をお願いします。

【副会長】

以前は、セミナーを別の日程で予定していたが、会長等と打合せを行い、住民の参画意識の向上など相乗効果を生むために、芸術祭の開催期間に合わせて実施した方がよいのではないかとということで、11月に実施することを提案したい。セミナー講師の【知識経験者】との日程調整もあるため、セミナーと意見交換会の候補日を11月の中でそれぞれ3日ずつ決めたいと思う。また、意見交換会にも【知識経験者】には参加をお願いしたいと思っている。

できれば、セミナーは11/3が理想だが、11/4と11/5も候補日としたい。また、意見交換会は、11/23が理想だが、11/21と11/22も候補日としたい。いかがか。

【D委員】

セミナーのテーマに「自然環境の保全と再生」と書かれているが、前提条件は「自然保護」で決まっていたか。

【副会長】

前回の会議で、「自然保護」をテーマにすると決めた。

【D委員】

では、すでに「自然環境の保全と再生」でテーマは決まっているということか。

【事務局】

「自然保護」までは決まっていたが、事務局で「再生」を追加した。

【D委員】

相乗効果を出すということであれば、芸術の色を出したテーマがいいのではない
か。例えば、軽井沢フォトフェスタは、まさに自然環境の中でさまざまな芸術を展示
おり、まさに自然環境保全とアートの融合だと思う。

【A委員】

セミナー講師の【知識経験者】と基本会議でコミュニケーションをとれる機会はある
のか。テーマについて話し合うなど。

【副会長】

可能ではないか。

【A委員】

テーマについて全体でブレーストするような場があれば良いと思う。

【D委員】

【知識経験者】はどのような方か。

【E委員】

【書籍のタイトル】という本を書いている方。保全には精通していると思うが、再
生まで精通しているかはわからない。

【A委員】

テーマについて、【知識経験者】と話して決める方が良いのでは。

【副会長】

そうした場が設けられれば設定していきたい。セミナーと意見交換会の日程につい
てはどうか。

【A委員】

意見交換会はどのようなイメージか。

【C委員】（ファシリテーター）

提言に向けてというイメージを会長は持っているかと思う。

【副会長】

意見を吸い上げて提言書にしていくというイメージ。

【D委員】

セミナー後にそのまま参加者と対話するような場を設ける方法もあるのでは。

【副会長】

セミナーのやり方はいろいろあると思う。【知識経験者】との打合せ次第ではないか。

【D委員】

会場の想定は。

【副会長】

中央公民館を想定している。屋外で実施する可能性もある。

【B委員】

【知識経験者】の話聞いた上で、矛盾しないように芸術祭をやるという順番が良いのではないか。自然を守りながら芸術祭を開催するということがどういうことかを事前に考えた上で、それを骨子としながら芸術祭を開催した方が流れとしては良いと思う。

【C委員】（ファシリテーター）

基本会議の場に【知識経験者】をお呼びして、芸術祭の実行委員会の方も含めてお話を聞くという方向か。

【A委員】

確かに、あらかじめ【知識経験者】の話を聞いた上で、芸術祭やセミナー・意見交換会に向かっていくというのは真摯な感じがする。

【C委員】（ファシリテーター）

基本会議にお呼びしてお話を聞くとすれば、【知識経験者】の話をお聞きするのは、いつのタイミングか。

【副会長】

できれば、次回の基本会議（第34回）で行いたい。

【A委員】

実行委員会の参加者全員を呼んでとなるとスケジュール的に難しい。

【B委員】

実行委員会の柱となる方々に参加してもらえれば良いのではないかと。【知識経験者】から、こういうことを大切にしながら芸術祭を行った方が良いとアドバイスをいただき、参加される方はそれを大事にしながらやりましょうと共有できれば良いと思う。

【C委員】（ファシリテーター）

では、【知識経験者】の判断を待って、具体的なスケジュールを決めるということではどうか。

【副会長】

まずは、【会長】に報告する。

【B委員】

実行委員会の参加者は、【知識経験者】の話のときだけ出席できれば良いと思う。

【C委員】（ファシリテーター）

そのような形ではどうか。

【F 委員】

【知識経験者】に、何をお聞きしたいのか、あらかじめ考えておいた方がよいと思う。最初に話した通り、「軽井沢ブランドの持続と進化」というテーマで私は委員として選ばれていて、軽井沢ブランドとは何かという最初の話合いのときに、やはり「自然」ではないかというところから始まっている。このままいくと単に森を守ろう、家を建てるなという方向に行くのではないかと危惧しており、ブランドとしての自然とは何だろうということを考えるために、【知識経験者】の知見をどのように活かすのかを我々でしっかりと考えてから話を聞かないと提言書に繋がっていかないと思う。単に自然を愛そうという話で終わってしまうのはもったいない。大自然だけなら私の地元の方がよほど豊かである。単純に自然破壊を止めようとか、ただ保全だけを大事にしようという方向にすると、そもそも軽井沢ブランドとしてのテーマの自然と離れていってしまうと思う。

それと、提言に対する町の回答まで聞きたいと思っている。

【副会長】

最終回の基本会議で提言書を調整して、後日町長にその提言書を手渡すという流れか。

【事務局】

いかようにも対応できると思う。最終回までに提言書の調整ができていれば、当日町長に提出することも可能だろうし、最終回で調整して、後日会長が代表して町長に提出することもありだと思う。

【副会長】

そうなるとスケジュール的に厳しいと思う。12月の第36回基本会議で考えをまとめ、提言書のたたき台を作成し、2月の第37回基本会議でその提言書をブラッシュアップ、最終回の基本会議で提言書を最終決定するといった流れが無難だと思う。

【事務局】

了解。

【C委員】（ファシリテーター）

「軽井沢ブランドの持続と進化」としての「自然」を題材に話し合うためには、どのようなセミナーテーマにするべきなのか、【知識経験者】のお話の前に決める必要がある。

【事務局】

では、事務局からこういったテーマが良いのか各委員にメールで確認する。

【D委員】

ただ町に提言書を提出するだけが一般的だと思うが、それで良いか。

【副会長】

提言書によっては、議会に取り上げられるなどの対応があったはずだが。

【事務局】

議会に提出するのは請願書かと思う。今回の提言書は議会を通して提出するものではないと思う。

【副会長】

そうなると思えば提出して終わりということか。

【事務局】

提出を受けた町として、しっかりと対応させていただく。

【副会長】

今年度で第4期会議は終了するが、その後の状況を追っていけるようにしていただきたい。

【事務局】

了解。

【C委員】（ファシリテーター）

提言書に対する町の回答を聞く場は設定できないか。

【事務局】

【現在、審議・検討中の情報であるため、このコメントは一時非公開とします】

【C委員】（ファシリテーター）

提言書となると回答をもらうのは難しいということか。

【事務局】

前期の風土フォーラム基本会議においても提言書を提出したことと思うが、それに対する町の回答はなかったはず。それと、同様の扱いになると思う。

【D委員】

確かに、前回提言したときに町からの回答はなかった。

【E委員】

我々は、諮問機関ではないため、そのような回答を求めることはできないと思う。

【D委員】

そこが、先ほど私が言ったことに繋がる。責任と権限が不明確で、何かを動かすことができない。

【副会長】

【現在、審議・検討中の情報であるため、このコメントは一時非公開とします】

【事務局】

提言書について、何かしらの対応はしなければいけないと考えている。

【副会長】

お願いする。

今回の基本会議は、まちづくり基本条例の改正及び【知識経験者】をお呼びしてお話を伺うこととする。

【C委員】（ファシリテーター）

【現在、審議・検討中の情報であるため、このコメントは一時非公開とします】

本日会長が欠席しているため、会長に今日の会議内容を報告した上で、詳細について決めていきたいがよろしいか。

では、次の議題である「芸術祭」について【A委員】説明をお願いする。

【A委員】

県の元気づくり支援金について、採択をいただき、「かるいざわ ざわざわ2023実行委員会」を立ち上げることができた。なお、当初は実行委員会のメンバーに都市デザイン室の職員が入る予定であったが、行政職員は入れないこととなった。

事後報告となって申し訳ないが、お手元の委員会名簿のとおり、プロデュースやディレクションのスキルがある方や、ネットワークがある方にお声掛けをさせていただいた。

【実行委員会メンバー】と【実行委員会メンバー】が障がいを持っている方でも映画を楽しむことができるという映画祭事業を展開されていて、その2人にメンバーに入っていた。

【実行委員会メンバー】は、佐久市で演劇的な教育を展開しており、今後の地域連携のためメンバーに入っていた。

【実行委員会メンバー】には、地域の小中学校に呼び掛けていただき、100年後の軽井沢の未来がこんな感じだと思う絵やジオラマなどの作品をくっつけテラスやFM軽井沢の前のスペースに展示していただくため、メンバーに入っていた。

【実行委員会メンバー】は、美術館協議会の事務局をやられている方のため、軽井沢にある美術館情報を「かるいざわ ざわざわ」の中に落とし込めていけたらということでメンバーに入っていた。

【実行委員会メンバー】は、【施設名】の施設長であるが、施設に「かるいざわ ざわざわ」の絵を描いてくださった方がおり、ベンチプロジェクトのキービジュアルも【施設名】に協力をお願いしたいと考えている。

【実行委員会メンバー】は、主に町内と北軽井沢でマルシェなどを展開しているコーディネーターで、農家の方などにネットワークがあるとともに、ベンチの材料や、マルシェ内でベンチを設置するなどの手配ができる方のため、メンバーに入っていた。

こうした組織化を図りながら、事業ロゴを作り、7月中旬を目途にWEBページを作成、Googleマップを使ってイベント場所にピンを立てる仕組みを構築し、広く一般の方に周知できるよう動いている。

また、YouTubeチャンネルを開設しており、プロセスをショート動画で作成してアーカイブとして残そうと思っている。

トークイベントは、町で動いている人たちを伝えていこうというイベントにしたいと思っていて、まちを考えて活動している人たちという意味でのトークショーを最低でも2・3回実施したいと考えている。

ベンチプロジェクトは、【企業名】と交渉中だが、新しくできた施設を拠点に街中を回遊してもらおう仕掛けをどのように作るのか、SDGsというキーワードからも外れないようベンチ自体も廃材などを使用していきよう考えている。

ホームページができ次第芸術祭の参加を呼びかけ、企画書ができ次第協賛を集め、徐々にまちの人たちへ広がっていく想定をしている。

7月には、元気づくり支援金の採択者向けのプレス公開がある。それと、町の後援も得たので、町制施行100周年記念のロゴも入る事業となる。

【B委員】、補足があればお願いします。

【B委員】

芸術祭は、もともと風土フォーラムが、住民が主体となって自治により自然を守るという動きの中でできている。実際にそういう動きをしている人たちは、あまり目立たず静かに動いている人たちであるため、芸術祭という場で一緒に取り組んでいきたいと思う。また、彼らをファシリテートして、軽井沢町のために素晴らしい活動をされている方々を応援することもトークイベントの趣旨である。

参考にした葉山芸術祭だが、葉山の雰囲気は軽井沢の雰囲気と似ていて、その町が好きで引っ越してきた方々が緩やかに繋がっていて、軽井沢にも葉山芸術祭のようなやり方が合うのではないかと思っている。

【A委員】

葉山芸術祭の冊子を参考に、ざわざわ芸術祭の冊子を作成中である。

【B委員】

企画に興味を持って特定の日を狙って来た方と、自分の予定がここしか空いていないという事でふらっと来られた方の2パターンの訪問を想定して冊子を作っている。

実行委員会が全てを背負うやり方をしないように、気負わずに責任を分散してやった方が、楽しくできると思っている。

【A委員】

自走していくイメージをいかに作るかというところが大事だと思うが、何年も続いていけるイベントにしていきたい。

【B委員】

軽井沢の自然を大切にしながらやっていくことを骨格として押し出していければ特色があると思う。また、軽井沢は、人々の距離が近い。たまたまお会いした人と趣味が合うというようなことが起こり得るのが軽井沢で、それは、葉山にも同じようなことを感じた。

【D委員】

総事業費と元気づくり支援金は、いくらか。

【A委員】

支援金は、約490万円。冊子とWEB作成、そしてアーカイブする動画作成だけでほぼその金額になる見込み。事務局運営費や縄文土器の作成やベンチにざわざわの焼き印を押すなどの、細かいところに協賛金のお金を使いたいと考えている。それと、元気づくり支援金は、今後4年間優先的に採択されるとのことで、実行委員会としては、今年度を含めた5年間の事業として自走できるプランを考えており、今回協賛金が集まらなかったとしても、来年度に繋げて、再度元気づくり支援金を得られるよう努めていきたい。

【D委員】

5年間なら総額約2000万円になる。

【E委員】

元気づくり支援金は行政が絡んでいるのが多いが、実行委員会が任意団体として申請したのは珍しいのではないか。

【A委員】

個人的には、将来、商工会や青年会議所、協賛企業などのコンソーシアムにしたいという希望がある。賛同していただける人たちが、入りやすい形になればと思っている。また、これをきっかけに仕事につながるようなイベントになればとも考えている。

【C委員】（ファシリテーター）

文化祭などすでに軽井沢町内にある取組との連携があれば教えていただきたい。

【A委員】

メンバーは、軽井沢在住の方になっている。

【B委員】

障がい者や高齢者、ボランティアなどが参加できるように、社会福祉協議会やボランティアチームに声をかけている。

【A委員】

長く軽井沢で営業されている宿泊施設などとの連携も考えている。

【B委員】

なお、参加企画はどなたでも参加可能であり、本人のやる気さえあれば万人に開かれたものに設定している。葉山芸術祭では、自室の部屋の一室だけを使用して参加している人もいた。そういう感じの参加方法も非常に良いと思う。

【C委員】（ファシリテーター）

さまざまな人が参加できるように工夫されていることを理解した。

他に、意見や質問はよろしいだろうか。

議題は、以上となる。副会長にお返しする。

【副会長】

本日は、遅い時間までありがとうございました。今回、皆様のお顔を拝見することができ、大変うれしく思う。スケジュールの再調整もあり、より一層皆様のお力をお借りするがあると思う。最後までお力添えを賜りますよう、よろしく願いする。本日はお疲れ様でした。